



広報おもの

【主な内容】

新年のご挨拶…………… 2-5
 財務状況の公表…………… 6-7
 国営横手西部農業水利事業について…………… 8
 国営かんがい排水事業「成瀬皆瀬地区」について…………… 9
 県営農業農村整備事業について…………… 10-11
 平成30年度事業実施状況ほか…………… 12-15
 土地改良区からのお知らせ…………… 16

発行日/平成31年1月1日

発行所/水土里ネット雄物川筋
 秋田県雄物川筋土地改良区
 秋田県横手市平鹿町醍醐字浅舞山13-74
 TEL(0182)32-2244 FAX32-2225
 URL:http://omonotokai.sakura.ne.jp

受益面積	組合員数
10,599ha	6,763人



謹賀新年

秋田県雄物川筋土地改良区

理事長 柴田 康二郎

副理事長 高橋 良一
(第一)
(庶務係)

副理事長 菅原 孝
(第二)
(工務係)

理事 小松田 正勝
(水利係)

理事 佐藤 賢一
(庶務係)

理事 伊藤 隆志
(水利係)

理事 菅原 久四郎
(庶務係代表)

理事 佐々木 輝雄
(水利係代表)

理事 高橋 茂
(工務係代表)

理事 近藤 親
(工務係)

理事 森谷 康市
(庶務係)

理事 高橋 稔
(会計係)

監事 高橋 順郎

監事 高橋 利光

監事 千田 幸咲



新年のご挨拶

秋田県雄物川筋土地改良区

理事長 柴田 康二郎

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、平素より本土地改良区の業務並びに事業推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、全国各地で非常に災害の多い年でありました。西日本豪雨、北海道胆振東部地震、度重なる台風発生など甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。当区としましても近年多発している豪雨など自然災害に対応しながら、農地や施設への被害を最小限にするため、関係機関と連携しながら管理に万全を期してまいります。

さて、当土地改良区は昨年設立50年を迎え、6月には多数のご来賓並びに関係各位のご臨席のもと、記念式典を執り行うことができました。また進藤金日子参議院議員には公務ご多忙のところ記念講演をいただき、あらためてお礼申し上げます次第であります。

これまで土地改良区の運営や多くの事業に携わってきた先人たちの御労苦に感謝し、引き継いだ貴重な財産を良好に管理しながら次世代に確実に引き継ぐためにこれからも努力してまいりる所存でありますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

水利の状況ですが、昨年は、5月の大雨、6月以降は高温続き、また雨の降る日が少なく渇水状態となりました。大変ご心配をお掛けしましたが、皆様の節水へのご協力とその後の降雨により渇水は解消され落水の日を迎えることができました。このような恒常的用水不足に対処すべく、現在国土交通省で建設中の成瀬ダムは2024年度完成を目指し本体工事が始まっております。当区としましても、成瀬ダムの早期完成に向けた事業推進について関係機関に対し強く要望してまいります。

管内の事業実施状況ですが、国営事業では横手西部農業水利事業で、大宮川幹線排水路、油川幹線排水路、石持川幹線排水路及び五郎兵衛排水路の改修を実施しております。

県営事業ですが、国営附帯県営かんがい排水事業「蛭野・角間川堰地区」、ため池等整備事業(用排水施設整備)「大屋沼寺内地区」を実施し、排水機能の向上と大雨時の災害に対する施設の強化を図ります。また、基幹水利施設ストックマネジメント事業では、M5-3用水路、M2-5-1用水路、M2-5-2用水路、弥兵堰の改修、ほ場整備事業では、田ノ植地区、平鹿高口地区がそれぞれ施工中であり、浅舞北部地区、下福田地区の2地区については平成31年度採択予定となっております。その他、戦略作物の品質や収量の大幅な向上を実現するため、水田畑地化基盤整備事業(モミガラ補助暗渠)や地下かんがいシステム導入支援事業を実施、団体営事業では、農地耕作条件改善事業(定額助成)で農地の区画拡大や暗渠排水等簡易な基盤整備を施工中であります。

また、老朽化や機能低下が著しい皆瀬ダム取水塔等については国営施設応急対策事業「成瀬皆瀬地区」として平成31年度新規着工を目指し、これから法手続きに入る予定となっております。工事期間中は地域の皆様には大変ご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

農業・農村の現状は、昨年から米の生産数量目標の配分が廃止されるなど、米政策が大きく転換されました。更に、農業従事者の高齢化、担い手不足等により農地・農業水利施設の維持管理や営農の継続が懸念されるなど厳しいものとなっております。

このようなことから、一昨年に続き昨年6月に土地改良法の一部が改正され、組合員資格や総代会制度の見直し、土地改良区の会計の透明化を高めるため、複式簿記の原則導入等が盛り込まれました。この法改正に伴う業務移行については速やかに準備を進めてまいります。

課題が山積する中、食料の安定供給、農業・農村の多面的機能を発揮させるため、農地や農業水利施設の整備、適切な維持管理を行い農業及び農村をめぐる情勢の変化に対応しながら、平成の時代から新たな時代へと皆様に信頼される土地改良区として、役職員一丸となり諸課題解決に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様の尚一層のご理解ご協力をお願いいたします。

結びに、組合員皆様のご健勝とご多幸、本年が実り多き年になりますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所

所長 小野寺 晃 宏

新年あけましておめでとうございます。

柴田理事長様はじめ、土地改良区の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農業農村整備事業の推進、並びに当事務所の調査等業務の実施に多大な御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本各地において最高気温を更新するなどの一方で、西日本豪雨や北海道胆振東部地震など大規模な災害も発生しております。当事務所管内においても例外では無く、5月と8月の豪雨による被災、7～8月には渇水対策を必要とする地域が発生しております。こうした地域の皆様にお見舞い申し上げますとともに、貴土地改良区の皆様におかれましては、日常の用水管理・施設管理のほかに洪水対応や渇水対応も加わるなど、大変厳しい中、土地改良施設を的確に運営管理し、農業用水を適正に配水管理していただいたことに、改めて深い敬意を表したいと思います。

このように近年多発する災害に対応するため、農林水産省としても国土強靱化にハード・ソフトの両面から農業水利施設の強靱化を進めてまいります。具体的には、施設の長寿命化の観点から農業水利施設の点検・診断した結果をデータベース化し、補修・更新を適時・的確に実施するとともに、農村地域の防災・減災の観点から施設の耐震化照査などを進めてまいります。

そして、こうした対策を実現すべく平成31年度の農業農村整備事業関連予算については、平成30年度予算に比べ122.0%の5,305億円の概算要求額となっております。

これは偏に土地改良に熱い思いを寄せる皆様方の御尽力によるものでございます。改めまして御礼申し上げます。

当事務所でも引き続き、土地改良施設の機能診断と機能回復、長寿命化に向けた適切な対策、さらに施設の耐震照査等を実施してまいります。具体的には、地域整備方向検討調査、地区調査、ストックマネジメント推進事業、水利権調整等を関係の皆様方の御意見を伺いながら進めてまいります。

本地域におきましては、皆瀬ダム取水塔等の老朽化対策のための国営施設応急対策事業原因究明等調査「成瀬皆瀬地区」に取り組んでいるところです。現在、当該地区の事業計画案を成案にするべく局及び本省の最終審査を受けているところです。また、平成31年度新規着工を目指して、昨年8月の概算要求には、新規着工の要求地区として位置づけられております。今後、平成31年度新規着工地区として認められれば、法手続きに入りますので、土地改良区の皆様には、引き続きの御理解、御支援をお願いいたします。

結びになりましたが、秋田県雄物川筋土地改良区の益々の御発展、組合員の皆様の御多幸と御健勝を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



新年のご挨拶

東北農政局平鹿平野農業水利事業所

所長 井田 充 則

新年明けましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。

また、平素より農業農村整備事業の推進並びに各工事の実施にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。おかげさまで本年度の主要工事も予定通りに進捗しており、油川幹線、大宮川幹線及び今年度初めて工事に入りました石持川幹線の各排水路を施工中です。

昨年は、5月18日の大雨により、県内各地で湛水や土砂崩れ等による被害が発生しました。これに伴う農作物、農業生産用施設、農地、農業用施設等を含めた県内の農林水産被害額は計17.9億円に上ることです。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。県内においては、平成29年7月の記録的豪雨が記憶に新しいところですが、近年は毎年のように全国で自然災害が発生しており、防災インフラの早急な整備は喫緊の課題となっています。7月に西日本で発生した豪雨ではため池が決壊等大きな被害が出ており、その後の全国的な点検調査の実施においては当事業所から広島県内のため池の点検調査に協力したところでした。こうした調査を基に農林水産省では防災重点ため池の選定基準を見直し、各都道府県において再選定が行われる予定です。幸い事業地区内では先般の大雨に際して、大きな被害は報告されておりませんが、事業実施による更新施設も被害軽減に寄与していると推察され、農業生産及び農業経営の安定において土地改良施設の機能維持が重要であると改めて実感したところです。

現在、平鹿平野農業水利事業所では、国営かんがい排水事業「横手西部地区」として、9,102haの受益地を持つ幹線排水路48.2kmの更新整備を進めており、今年度施工している油川・大宮川・石持川等の幹線排水路工事の合計施工延長は約4.5kmとなっております。

これまでも工事の実実施計画の策定については、施設の老朽化状況・改修効果・施工条件を踏まえて、見直しを実施してまいりました。昨年度からの協議により、今年度は石持川幹線排水路の改修に初めて着手しております。近隣地域では、これまで大雨のため度々湛水被害が生じてきたところですが、改修の進捗に伴いこうした被害については軽減されるものと考えています。今後も地区の状況を踏まえ、地区内の県のは場整備事業等と調整するなど、関係の方々と連携して事業を進めていきます。

施工に際しては、水路に隣接する架線や気象状況及び出水状況に常に注意するなど、安全管理の徹底や施工の品質確保に向けて万全を期しているところです。また、宅地隣接箇所では騒音・振動調査を実施する等、公害防止についても取組みを実施しているところです。

最後になりましたが、本年も横手西部地区の円滑な事業の推進のため、地域の皆様には引き続きご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして実り多き一年になること、あわせて皆様のご多幸とご健勝を心からお祈りして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

秋田県平鹿地域振興局農林部

部長 福田 正人

新年明けましておめでとうございます。

柴田理事長様をはじめ、組合員の皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本県農林水産行政、とりわけ農業農村整備事業の推進に特段の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、記録的な豪雨や台風、地震などの自然災害が相次いで発生しましたが、平鹿地域においては、台風による農作物等への被害が一部あったものの、気象災害による大きな被災はありませんでした。本県農業の基幹作物である米については、国が発表した作況指数で県南地域は96のやや不良と平年を下回る収量となりました。

一方、農業を巡る情勢は、昨年、米政策見直しにより生産数量目標の配分が廃止となり、今後、国の農政改革等による産地間競争の激化や、人口減少を背景とした労働力不足など、社会情勢の大きな変化が見込まれます。これらに的確に対応していくためには、持続可能で高い競争力のある担い手づくりや、複合型生産構造への一層の転換を図る必要があります。県としては、これまでの取組をもう一段ステップアップしつつ、農林水産業の成長産業化への取組を加速化していくこととしております。

平鹿地域は、早くから野菜、果樹、花きなどの複合部門の導入が進み、米を基幹とした複合経営が展開されておりますが、収益性の高い複合型の生産構造への転換及び定着を確かなものとするため、園芸メガ団地やネットワーク型園芸拠点施設を核とした野菜や果樹等の園芸品目のトップブランド産地を育成することとしております。特に、菌床しいたけについて、販売量、販売額、販売単価で日本一を目指す「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」等により、平鹿十五野地区を中心に大規模団地の育成に向けた整備を進めているところであります。

このように、効率的で収益性の高い農業経営を実現していくためには、生産基盤の強化が不可欠であり、必要な予算確保に努めながら農業農村整備事業の計画的な推進を図ってまいります。

平鹿平野地域の農業水利事業に関しては、国営横手西部地区関連路線で30年度事業採択の蛭野・角間川堰地区と大屋沼寺内地区において、31年度より水路改修工事を行う予定であり、その他関連路線についても、関係機関と連携を図りながら早期の事業着手に努めてまいります。また、老朽化したその他の路線については、基幹水利施設ストックマネジメント事業により長寿命化対策を実施しておりますが、31年度は皆瀬(1)地区でM2-1路線、皆瀬(2)地区でM5-1路線等を改修することとしており、計画的かつ着実に事業を進めてまいります。

ほ場整備事業関連では、田ノ植地区と平鹿高口地区において、農地の大区画化・汎用化や担い手への農地集積・集約化に加え、高収益作物の産地づくりと一体となった基盤整備を実施しており、調査計画3年目の浅舞北部地区と下福田地区が31年度新規採択予定であります。また、新たな事業要望地区については、地元関係者等と連携を図りながら計画的に採択を目指してまいります。

日本型直接支払制度(多面的機能直接支払交付金)の円滑な推進については、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるよう、土地改良区内の「多面的機能支払交付金事務センター」を拠点とし、引き続き、効率的・効果的な農地や水路などの共同活動等の積極的な取組についてお願いいたします。

結びに、昨年は貴土地改良区設立50周年の節目の年でありましたが、本年も秋田県雄物川筋土地改良区がますます御発展されますとともに、組合員の皆様の御健勝を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

平成29年度 財務状況の公表

平成30年8月30日に開催された第103回総代会において、平成29年度一般会計及び特別会計の決算並びに財産目録を上程審議の結果、承認された。

一般会計収支決算

収入の部

平成30年5月31日調製 (単位:円)

科目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減	附記
1. 土地改良事業収入	371,631,622	373,981,000	△ 2,349,378	徴収率 99.27%
(1) 経常賦課金	290,021,883	291,787,000	△ 1,765,117	調定額 292,101,526 円に対し徴収率 99.29%
(2) 特別賦課金	81,609,739	82,192,000	△ 582,261	調定額 82,258,597 円に対し徴収率 99.21%
2. 附帯事業収入	12,339,468	11,626,000	713,468	他目的使用、排水許可 ほか
3. 財産運用収入	11,400	2,000	9,400	農林中央金庫出資配当金
4. 補助金等収入	128,316,600	292,852,000	△ 164,535,400	国、県、市補助金 ほか
5. 受託料収入	54,089,200	54,391,000	△ 301,800	多面的機能支払交付金事務受託、換地業務受託 ほか
6. 交付金収入	15,030,000	15,030,000	0	適正化事業
7. 国営土地改良事業調査費収入	0	1,000	△ 1,000	
8. 諸収入	3,925,086	2,275,000	1,650,086	過年度未収賦課金 ほか
9. 借入金収入	34,350,000	36,003,000	△ 1,653,000	基幹水利施設ストックマネジメント事業 皆瀬(1)地区、皆瀬(2)地区
10. 固定資産売却収入	0	4,000	△ 4,000	
11. 他会計繰入額	900,000	903,000	△ 3,000	
12. 繰越金	41,870,368	41,870,000	368	前年度繰越金
収入合計	662,463,744	828,938,000	△ 166,474,256	

支出の部

科目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減	附記
1. 土地改良事業費	227,010,939	410,626,000	△ 183,615,061	頭首工、水路、揚水機場、ため池 ほか
2. 一般管理費	175,969,608	186,259,000	△ 10,289,392	役員、総代報酬、職員給与、会議費(理事会、監事会、総代会等)、事務所維持費 ほか
3. 選挙費	0	5,000	△ 5,000	
4. 事業促進費	3,442,928	8,569,000	△ 5,126,072	事業推進協力費 ほか
5. 事業負担金	35,123,224	39,554,000	△ 4,430,776	基幹水利施設ストックマネジメント事業 ほか
6. 諸支出金	12,056,227	16,731,000	△ 4,674,773	賦課金徴収費、車両管理費 ほか
7. 事業費	55,599,920	55,901,000	△ 301,080	多面的機能支払交付金事業費、換地業務費 ほか
8. 借入償還金	80,937,876	81,044,000	△ 106,124	国営管かんがい排水事業償還金 ほか
9. 積立金繰出支出	0	15,000	△ 15,000	
10. 財産管理費及び買収費	0	1,000	△ 1,000	
11. 過年度支出金	0	1,000	△ 1,000	
12. 他会計繰出額	17,159,466	17,390,000	△ 230,534	
13. 予備費	0	12,842,000	△ 12,842,000	
支出合計	607,300,188	828,938,000	△ 221,637,812	

収入支出差引残金 55,163,556 円 次年度へ繰越

特別会計収支決算

(単位：円)

会 計 名	収入決算額	支出決算額	差引残金
地区除外決済金積立金	76,331,567	5,433,638	70,897,929
災害対策基金積立金	28,179,493	0	28,179,493
財政調整準備金積立金	170,721,392	6,770,000	163,951,392
職員退職給与引当積立金	118,578,578	15,412,800	103,165,778
役員、総代退任慰労金積立金	3,021,111	0	3,021,111
岩崎弁天地区維持管理	14,323,556	8,102,887	6,220,669
田根森地区維持管理	37,104,509	30,187,832	6,916,677
田村野地区維持管理	861,356	733,280	128,076
平鹿地区維持管理	252,896,587	201,461,512	51,435,075
十文字地区維持管理	63,888,531	33,303,464	30,585,067
おものがわ地区維持管理	96,765,917	78,591,776	18,174,141
沼館地区維持管理	51,191,903	35,308,299	15,883,604
阿気地区維持管理	35,022,675	31,483,861	3,538,814
宮田地区維持管理	2,117,182	1,016,309	1,100,873

財 産 目 録

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
1. 流動資産	208,496,801	1. 長期負債	2,076,917,075
現金及び預金	189,146,552	農業基盤整備資金借入金	466,440,717
未収賦課金	19,350,249	水田・畑作経営所得安定対策等資金借入金	376,436,000
		国営かんがい排水事業資金借入金	72,120,400
2. 出資金	5,324,951	弁天地区担い手育成事業資金借入金	38,347,000
		田根森地区土地総合整備事業資金借入金	16,086,870
3. 特定資産	369,215,703	田根森地区担い手育成基盤整備事業資金借入金	79,340,488
地区除外決済金積立金見返預金	70,897,929	田根森地区農業水利システム事業資金借入金	9,520,000
災害対策基金積立金見返預金	28,179,493	平鹿地区農業基盤整備資金借入金	302,270,000
財政調整準備金積立金見返預金	163,951,392	十文字地区農業基盤整備資金借入金	63,975,600
職員退職給与引当積立金見返預金	103,165,778	おものがわ地区農業基盤整備資金借入金	332,801,000
役員、総代退任慰労金積立金見返預金	3,021,111	沼館地区農業基盤整備資金借入金	272,936,000
		阿気地区農業基盤整備資金借入金	46,643,000
4. 固定資産	338,845,274	2. 短期負債	369,215,703
機械器具	22,169,358	地区除外決済金積立金	70,897,929
備品	29,531,704	災害対策基金積立金	28,179,493
建物	268,360,000	財政調整準備金積立金	163,951,392
敷地ほか	18,784,212	職員退職給与引当積立金	103,165,778
		役員、総代退任慰労金積立金	3,021,111
資 産 合 計	921,882,729	負 債 合 計	2,446,132,778

国宮横手西部農業水利事業について

1. 事業計画の概要

項 目	内 容																										
関係市町村	横手市、大仙市	受 益 面 積	9,102ha																								
事業工期	平成24年度～平成32年度（予定）																										
事業費	総事業費	平成29年度	平成30年度																								
	283億円	〈17.6億円〉 23.6億円	23.6億円																								
備考	備 考 〈 〉は補正予算額 平成29年度迄進捗率62.4%																										
主要工事計画	8路線 L=48.2km（平成29年度まで施工済延長 L=17.9km） 吉田幹線排水路L=9.7km、油川幹線排水路L=11.1km、大宮川幹線排水路L=7.7km、 石持川幹線排水路L=6.9km、五郎兵衛排水路L=4.2km、皆瀬1号幹線用水路L=3.3km、 皆瀬3号幹線用水路L=3.8km、皆瀬4号幹線用水路L=1.5km																										
平成30年度事業実施内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">油川幹線排水路</td> <td style="width: 30%;">L= 1.9 km</td> <td style="width: 30%;">平成30年8月～平成31年3月（予定）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">横手市大雄字東桜森～上桜森地内他</td> </tr> <tr> <td>大宮川幹線排水路</td> <td>L= 2.2 km</td> <td>平成30年8月～平成31年3月（予定）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">横手市雄物川町会塚字野堰添～堰合地内他</td> </tr> <tr> <td>石持川幹線排水路</td> <td>L= 0.4 km</td> <td>平成30年9月～平成31年3月（予定）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">横手市雄物川町沼館字中助五郎林地内他</td> </tr> <tr> <td>五郎兵衛排水路</td> <td>L= 0.04 km</td> <td>平成30年9月～平成31年3月（予定）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">横手市雄物川町南形地内</td> </tr> </table>			油川幹線排水路	L= 1.9 km	平成30年8月～平成31年3月（予定）	横手市大雄字東桜森～上桜森地内他			大宮川幹線排水路	L= 2.2 km	平成30年8月～平成31年3月（予定）	横手市雄物川町会塚字野堰添～堰合地内他			石持川幹線排水路	L= 0.4 km	平成30年9月～平成31年3月（予定）	横手市雄物川町沼館字中助五郎林地内他			五郎兵衛排水路	L= 0.04 km	平成30年9月～平成31年3月（予定）	横手市雄物川町南形地内		
油川幹線排水路	L= 1.9 km	平成30年8月～平成31年3月（予定）																									
横手市大雄字東桜森～上桜森地内他																											
大宮川幹線排水路	L= 2.2 km	平成30年8月～平成31年3月（予定）																									
横手市雄物川町会塚字野堰添～堰合地内他																											
石持川幹線排水路	L= 0.4 km	平成30年9月～平成31年3月（予定）																									
横手市雄物川町沼館字中助五郎林地内他																											
五郎兵衛排水路	L= 0.04 km	平成30年9月～平成31年3月（予定）																									
横手市雄物川町南形地内																											

2. 平成30年度工事の実施状況

油川幹線排水路	油川幹線排水路	大宮川幹線排水路
		
積ブロック護岸に改修します。	護岸改修のため、矢板で仮設の締切を行っています。	積ブロック護岸に改修します。
大宮川幹線排水路	石持川幹線排水路	五郎兵衛排水路
		
護岸改修のため、土のうで仮設の締切を行っています。	積ブロック護岸に改修します。	大型フリーム水路に改修します。

工事期間中、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

国営かんがい排水事業「成瀬皆瀬地区」(国営施設応急対策)について

国営かんがい排水事業「成瀬皆瀬地区」が平成31年度から着工予定となっています。本事業は前歴の国営雄物川筋土地改良事業(S21～S55)により造成された皆瀬ダム取水塔、皆瀬3号幹線用水路、成瀬1号幹線用水路、(概要図の朱書き部分)の改修を行うものです。間もなく始まる土地改良法の手続きを経て、事業が開始される見込みです。

事業名	国営かんがい排水事業「成瀬皆瀬地区」(国営施設応急対策)		
関係市町村	横手市、湯沢市、大仙市	受益面積	10,060ha
事業工期	平成31年度～平成41年度(予定)	総事業費	85億円(予定)
主要工事計画	皆瀬ダム取水塔(改修、耐震化対策) 皆瀬3号幹線用水路(改修/1.5km)、成瀬1号幹線用水路(改修/1.5km)		



県営農業農村整備事業について

1 事業計画の概要

(1) かんがい排水事業

○ 国営かんがい排水事業の附帯県営路線について、水路の整備を実施し、排水機能の強化や施設の維持管理の低減を図ります。

地区名	蛭野・角間川堰	関係市町村	横手市(旧大雄村、旧平鹿町、旧十文字町、旧増田町)、大仙市		
受益面積	1,143ha	事業実施期間	H30～H36(予定)		
事業費	13.8億円	進捗率	平成30年度まで 5%		
事業量	水路工 L=6.1km	排水路整備			
負担区分	国 50%	県 25%	市 10～25%	地元 0～15%	
平成30年度事業実施内容	(1)予算額 73百万円 (2)業務内容 水路工実施設計、路線・用地測量 N=1式 他 (3)業務期間 平成30年8月10日～平成31年3月22日(予定) (4)業務場所 横手市大雄村大雄地内 他				

(2) 基幹水利施設ストックマネジメント事業

○ 県営事業等で造成した農業水利施設の機能診断により、劣化状況を把握した上で保全対策計画を策定し、計画に基づいた補修工事を行い、施設の長寿命化、維持・更新コストの低減を図ります。

地区名	皆瀬(1)	関係市町村	横手市(旧十文字町、旧平鹿町)		
受益面積	1,301ha	事業実施期間	H25～H31(予定)		
事業費	5.14億円	進捗率	平成30年度まで 90%		
事業量	M2-1、M4-1-1、M5-3、M6-4	水路機能保全			
負担区分	国 50%	県 25%	市 10%	地元 15%	
平成30年度事業実施内容	(1)予算額 115百万円 (2)工事内容 M5-3 L=0.1km 他(水路機能保全) (3)工事期間 平成30年10月9日～平成31年3月22日(予定) (4)施工場所 横手市十文字町谷地新田地内 他				

地区名	皆瀬(2)	関係市町村	横手市(旧十文字町、旧平鹿町、旧大雄村)		
受益面積	1,078ha	事業実施期間	H27～H31(予定)		
事業費	5.08億円	進捗率	平成30年度まで 74%		
事業量	弥兵堰、M2-5-1、M2-5-2、M5-1、M5-2-2	水路機能保全			
負担区分	国 50%	県 25%	市 10%	地元 15%	
平成30年度事業実施内容	(1)予算額 156百万円 (2)工事内容 M2-5-1・M2-5-2: L=1.2km、ゲート補修 N=1式(水路機能保全) (3)工事期間 平成30年10月9日～平成31年3月22日(予定) (4)施工場所 横手市大雄村田根森地内 他				

(3) ため池等整備事業(用排水施設整備)

○ 施設築造後、周辺流域の開発等により、大雨時の増水被害が頻発しているため、早急に排水路の整備を実施し、大雨等の災害に対する施設の強化を図ります。

地区名	大屋沼寺内	関係市町村	横手市(旧横手市、旧平鹿町)		
受益面積	107.5ha	事業実施期間	H30～H35(予定)		
事業費	12.0億円	進捗率	平成30年度まで 7%		
事業量	水路工 L=3.1km	排水路整備			
負担区分	国 55%	県 33%	市 11%	地元 1%	
平成30年度事業実施内容	(1)予算額 85百万円 (2)業務内容 水路工実施設計、路線・用地測量 N=1式 他 (3)業務期間 平成30年8月3日～平成31年3月15日(予定) (4)業務場所 横手市平鹿町醍醐地内 他				

(4) 農地集積加速化基盤整備事業

○ 水田農業の効率化及び複合化に不可欠な場の大区画化・汎用化を図るため、区画整理、暗渠排水、用排水路、農道等のハード整備、担い手への農地集積・集約化等のソフト対策を総合的に行います。併せて、高収益作物の産地づくりとも一体となって事業を進めていきます。

地区名	田ノ植	関係市町村	横手市(旧平鹿町)		
受益面積	216.1ha	事業実施期間	H27～H32(予定)		
事業費	36.81億円	進捗率	平成30年度まで 69%		
事業量	ほ場整備 216.1 ha				
負担区分	国 55%	県 27.5%	市 10%	地元 7.5%	
平成30年度事業実施内容	(1)予算額 998百万円 (2)工事内容 区画整理工 A=30.2ha 他 (3)工事期間 平成30年3月29日～平成31年3月25日(予定) (4)施工場所 横手市平鹿町上吉田地内 他				

地区名	平鹿高口	関係市町村	横手市(旧平鹿町)		
受益面積	139.5ha	事業実施期間	H27～H32(予定)		
事業費	23.11億円	進捗率	平成30年度まで 79%		
事業量	ほ場整備 139.5 ha				
負担区分	国 55%	県 27.5%	市 10%	地元 7.5%	
平成30年度事業実施内容	(1)予算額 792百万円 (2)工事内容 区画整理工 A=57.1ha 他 (3)工事期間 平成30年3月29日～平成31年3月12日(予定) (4)施工場所 横手市平鹿町下吉田地内				

工事期間中、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

(5) 県営農業農村整備調査計画

○ 県営農業農村整備事業(かんがい排水、ほ場整備等)を実施するための基礎調査、事業計画策定等を行い、農業の有する多面的機能の発揮等に配慮し、事業の計画的・効率的な推進を図ります。

想定事業名	農地集積加速化基盤整備	農地集積加速化基盤整備	かんがい排水	かんがい排水 他	かんがい排水 他
地区名	浅舞北部	下福田	横手西部	皆瀬・成瀬北	皆瀬・成瀬南
関係市町村	横手市(旧平鹿町)	横手市(旧平鹿町)	横手市(旧十文字町)	横手市(旧平鹿町 他)	横手市(旧雄物川町 他)
受益面積	266ha	37ha	292ha	3,774ha	3,469ha
事業概要	ほ場整備	ほ場整備	用排水路L=4.3km	用排水路L=27.9km	用排水路L=33.5km
採択希望年度	平成31年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降	平成33年度以降

2 事業の実施状況

■蛭野・角間川堰地区(現況)



■皆瀬(1)地区:M5-3(施工前)



■皆瀬(2)地区:M2-5-1(施工前)



■大屋沼寺内地区(現況)



■田ノ植地区:区画整理



■平鹿高口地区:区画整理



県営事業2地区が平成31年度新規事業採択へ！

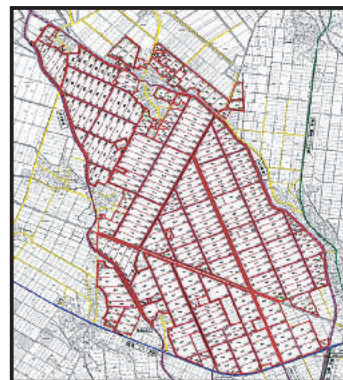
■ 県営農地集積加速化基盤整備事業

○ 現在、「田ノ植地区」と「平鹿高口地区」において、水田の大区画化・汎用化を図るため、区画整理、暗渠排水、用排水路、農道等のハード整備を行い、担い手への農地集積・集約化等のソフト対策に加え、高収益作物の産地づくりと一体となってほ場整備事業を実施していますが、**平成31年度には「浅舞北部地区」と「下福田地区」の2地区が新たに事業採択される予定です。**

地区名	浅舞北部	関係市町村	横手市(旧平鹿町)		
受益面積	265.5ha	事業実施期間	平成31年度～平成36年度(予定)		
事業費	48.31億円	進捗率	平成30年度まで 0%		
事業量	ほ場整備 265.5 ha				
負担区分	国 55%	県 27.5%	市 10%	地元 7.5%	
平成31年度事業実施内容(予定)	(1)予算額 160百万円 (2)業務内容 ほ場整備実施設計、換地業務(換地設計基準作成、従前地評価等) N=1式 (3)業務期間 平成31年6月～平成32年3月(予定) (4)業務場所 横手市平鹿町浅舞地内				



現況

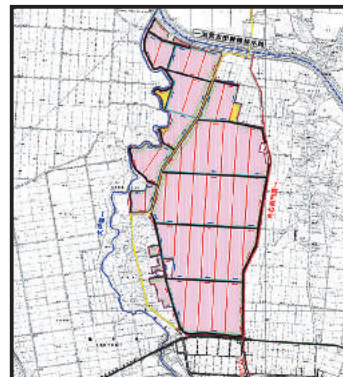


計画一般平面図

地区名	下福田	関係市町村	横手市(旧平鹿町)		
受益面積	36.9ha	事業実施期間	平成31年度～平成36年度(予定)		
事業費	6.23億円	進捗率	平成30年度まで 0%		
事業量	ほ場整備 36.9 ha				
負担区分	国 55%	県 27.5%	市 10%	地元 7.5%	
平成31年度事業実施内容(予定)	(1)予算額 50百万円 (2)業務内容 ほ場整備実施設計、換地業務(換地設計基準作成、従前地評価等) N=1式 (3)業務期間 平成31年6月～平成32年3月(予定) (4)業務場所 横手市平鹿町下吉田地内				



現況



計画一般平面図

平成30年度事業実施状況

■ 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型） 本年度事業費 28,000千円 【国 50%・県 25%・市 25%】

● 頭首工、水路、ため池など農業水利施設は、農業生産面での役割だけでなく、**地域の（洪水防止機能・防火用水・消雪用水等）多面的機能**をあわせもっています。これらの施設は土地改良区が管理していますが、農業水利施設の有する多面的機能の適切な発揮を促進するため、**啓発活動を行いながら、非農家を含めた地域住民の管理作業への参画と協定締結**を目指し、管理体制の強化を図ります。

● 支援事業（管理体制の整備・強化に対する支援）



【春の浚渫作業】 M3 幹線用水路

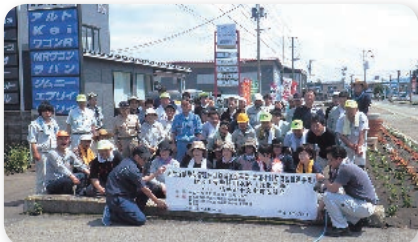


【草刈り作業】 N2 用水路



【機械浚渫作業】 N1 幹線用水路

● 推進事業（管理体制整備の推進活動）



【緑化活動】 M1 幹線用水路



【施設研修会】 大雄田根森地区の皆さん



【啓発看板設置 18箇所】 立入禁止・不法投棄

■ 土地改良施設維持管理適正化事業 本年度事業費 15,100千円 【国 30%・県 30%・改良区 40%】

● 本年度は大沼ため池（横手市平鹿町醍醐地内）の**老朽化した取水ゲート扉体やスクリーンの更新**と昨年に引き続き開三ヶ村揚水機場（横手市雄物川町西野地内）の**主ポンプ1号機及び電動機工場整備・操作盤更新工事**を実施しています。

■ 大沼ため池



【大沼ため池全景】



【既設スクリーン腐食状況】

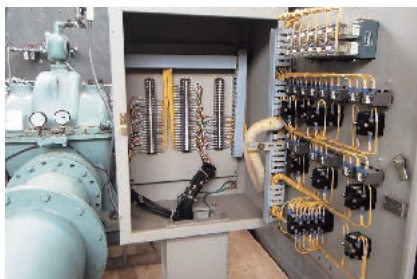


【新規スクリーン製作状況】

■ 開三ヶ村揚水機場



【主ポンプφ 500mm × 115kw】



【操作盤更新 N=1 面】



【スリーブ摩耗状況】

多面的機能支払交付金事業

～活動組織の取組事例を紹介します～

事務受託組織数：18組織

交付対象面積：6,961ha

交付金額：336,044千円

吉田地区活動組織
水路の泥上げ



下吉田支部の皆さんによる水路の泥上げ・草刈りの様子です。地域で合力し、きめ細やかな作業を計画・実施することで農業用施設の適切な維持・管理に努めています。

水路の草刈り



阿気地域農地・水・環境保全組織
水路の更新（実施前）



施設の長寿命化対策として、破損と老朽化が著しかった水路の更新を約150m行いました。目地からの漏水を防ぐとともに水路勾配の修正が図られ、水田への用水の安定供給が実現できました。

水路の更新（実施後）



横手市沼館地域農地・水・環境保全組織
多面的機能の増進を図る活動



農作物への害獣による被害防止及び集落内への侵入を防ぐため、箱罠による捕獲作業を実施しています。また、揚水機の補修・更新を実施し、維持管理費の軽減に努めています。

ゲート類等の保守管理



優良活動組織表彰 優秀賞（協議会長賞）を受賞 阿気地域農地・水・環境保全組織



平成30年11月15日に男鹿市民文化会館で開催された「秋田の原風景を守り継ぐフォーラム」において、平成19年度からの活動が評価され、優秀賞（協議会長賞）を活動組織を代表して会長の土田征一氏が受賞しました。また、併せて活動組織の事例発表も行われました。

今後なお一層のご発展をご祈念申し上げます。

第28回「全国花のまちづくりコンクール」大賞を受賞

横手市十字町の市街地を流れる皆瀬1号幹線用水路敷を活用した植栽活動が、大賞となる国土交通大臣賞を受賞しました。

この植栽活動は国営事業により開水路から暗渠水路に改修されたものの、少し寂しげな商店街を花で明るくしようと「十字環境美化を考える会」が主体となり、地域住民や関係機関の協力のもと活動をしています。



管内ほ場整備事業地区紹介

当土地改良区管内において、ほ場整備事業を県営農地集積加速化基盤整備事業として実施中2地区、調査計画2地区が進捗しております。今回は実施中の田ノ植地区をご紹介します。

田ノ植地区 事業概要

事業名：農地集積加速化基盤整備事業

工期：平成27年度～平成32年度

受益面積：216.1ha
(平成30年度完了予定135.7ha)

総事業費：36.81億円

田ノ植地区 営農構想 (目標)

担い手集積面積：188.0ha

集積率：87.0%

担い手数：法人5 (経営面積：141.0ha)
個人5 (経営面積：47.0ha)

作付計画：水稲 (135.2ha)、大豆 (66.2ha)
スイカ (2.5ha)、枝豆 (4.8ha)
きゅうり (1.2ha)、アスパラガス (2.0ha)



田ノ植地区ほ場整備事業推進委員会 伊藤彰英委員長より

田ノ植地区ほ場整備事業は面工事3年目を迎え、併せて暗渠排水及び地下かんがいシステム、もみがら補助暗渠等の整備も進捗しております。

ほ場整備後の大区画での作付けも2年目を終え、作業の効率化・省力化が進み事業効果を実感しております。現在、当地区の作付け作物は水稲と大豆が中心であります。畑作において整備前のほ場では除草剤による防除が難しい雑草についても除草剤を使用せず、中耕培土だけ雑草を抑制出来ました。

ただし、地下かんがいシステムを十分に活用出来なかった反省を来年度へ活かし、収量及び品質向上に努めて参ります。

また、今後は大豆の他にも高収益作物への転換及びアイガモ農法による付加価値のある米作りの作付面積拡大にも力を入れて、さらに農地中間管理事業を活用した農地の利用集積も進めて参ります。

今後とも受益者各位及び関係機関と連携を図り、地域農業が発展出来ますよう尽力して参ります。



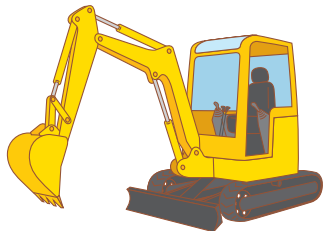
表土整備状況



アイガモによる除草

平成31年度管内ほ場整備事業計画
【農地集積加速化基盤整備事業】

- ①田ノ植地区 面工事 80.4ha、暗渠排水 28.7ha
- ②平鹿高口地区 面工事 10.6ha、暗渠排水 31.0ha
- ③浅舞北部地区 (事業採択予定) 実施設計
- ④下福田地区 (事業採択予定) 実施設計



「農地中間管理事業関連ほ場整備事業」 平成34年度新規地区採択を目指して!!

醍醐荒処・朴田・蟹沢の3地区 仮同意100%達成

旧平鹿町の醍醐荒処地区及び朴田地区、蟹沢地区の3地区が平成30年度から制度化された「農地中間管理事業関連ほ場整備事業」での平成34年度新規採択を目指して、これまで事業に関する説明会・意見交換会等を行って参りました。地元の事業への熱意及び理解が得られ、100%の仮同意をいただきました。

平成31年度より事業採択へ向けて調査及び計画策定が行われる予定でありますが、今後とも地元及び関係機関と協力し、取り組んで参ります。

農地中間管理事業関連ほ場整備事業のご紹介

担い手への農地の集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者の申請・同意・費用負担によらず、都道府県が実施する基盤整備を推進します。

- ①事業対象農地の全てについて、事業計画の公示日から15年以上の農地中間管理権を設定
- ②事業対象農地面積：10ha以上（中山間地域等は5ha以上）
- ③事業対象農地の80%以上を事業完了後5年以内に担い手に集団化
- ④事業実施地域の収益性が事業完了後5年以内に20%以上向上

農地中間管理事業のしくみ

農地中間管理事業とは、農用地等を貸したい農家（出し手）から農用地等の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手（受け手）への農用地の集積・集約化を進めるため、「農地集積バンク（農地中間管理機構）」が農用地の中間的受け皿となる事業です。



お気軽にご相談ください!!

各種事業（ほ場整備事業、農地の区画拡大・暗渠排水、地下かんがいシステム、もみがら補助暗渠、農地中間管理事業等）に関するお問い合わせがございましたら、お気軽にご相談ください。地域農業発展のためにもともに頑張っ参ります。

担当：事業課 TEL.0182-32-2244

土地改良区からのお知らせ

土地改良区への届出を、忘れずに!!

公共機関（市、農業委員会、法務局等）で手続きを行っても、**土地改良区に直接届出がなければ土地台帳等の修正は行われず、賦課金は従来の組合員への賦課となってしまいますのでご注意ください。**

■ 下記の届出は自己申請です

● 組合員の資格喪失通知書の提出

- ・組合員が売買、貸借、交換等により**農地を移動**する場合
- ・組合員が死亡、農業者年金受給等により**名義を変更**する場合
- ・組合員が引っ越し等で**住所を変更**する場合

● 地区除外申請書、農地転用等通知書及び意見交付願の提出

- ・農地を**宅地等に転用**、または公共用地（道路等）**買収により転用**する場合

● 他目的申請書（一時使用）及び排水放流許可申請書の提出

- ・**水路敷地の使用**、または、**水路へ合併浄化槽処理水等を放流**する場合

※無断使用が判明した場合は、設置者において撤去していただくことになります。

■ 注意！ 滞納賦課金は新資格者が継承します

土地改良区地区内の農地を売買するとき（競売も含む）や組合員の資格を交替する場合にその**土地に滞納賦課金があると、その納入義務は、土地改良法の規定により、新しい資格者に継承**されます。

資格取得の際は、その後のトラブルを避けるためにも、必ず土地改良区で滞納賦課金について確認されるようお願いします。

■ 農地転用手続きについて

農地転用とは、農地を農地以外（住宅や駐車場など）のものにすることです。農地転用する場合は農地法による許可が必要となりますので、はじめに市の農業委員会に相談するようお願いします。

賦課金の納入は便利な口座振替で!!

担当：財務課賦課徴収係 ☎0182-32-2244

秋田県土地改良事業 功労者表彰

副理事長 高橋良一



平成30年10月31日、秋田市立体育館で開催された秋田県土地改良事業推進大会において、永年にわたる土地改良事業の推進と発展に尽力された功績により、秋田県土地改良事業功労者表彰を受賞されました。

国営かんがい排水事業 「横手西部地区」に伴う断水について

【断水期間】平成30年10月1日～平成31年3月31日

幹線排水路改修工事の実施に伴い、皆瀬頭首工及び成瀬頭首工からの取水を停止しています。大変ご不便をおかけしますが、ご協力の程をよろしくお願いいたします。

秋田県土地改良事業団体連合会 創立60周年記念式典特別表彰



財務課長	阿部	取
管理課長	菊池	二郎
事業課長	松倉	勇功
管理課長代理	佐藤	文成
会計主任	柴田	明美

農業農村整備事業の推進と発展に貢献した土地改良区職員として特別表彰を受賞いたしました。